

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.6.23
課名	政策推進課
グループ名	地方創生室グループ
担当者名	

1 事業概要

(1)事業名	新しい働き方×地域の担い手×関係人口創出事業費	(2)事業種別(新規・継続)	継続	(3)事業性格(政策・一般)	政策事業					
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別									
①基本目標	人が輝くまち(参加と協働の推進)	①会計区分	一般会計							
②大項目	協働・共助	②財源区分	国県補助							
③中項目	町民参加の充実	③予算科目	款	2	項	1	目	6		
④施策	官民連携	④予算事業名	新しい働き方×地域の担い手×関係人口創出事業費							
⑤施策コード	1.2.2.2	掲載ページ	23	ページ						
(6)実施根拠	(7)総合戦略									
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略(該当事業名)	新しい働き方×地域の担い手×関係人口創出事業費							
②根拠法令										
③事業期間	開始	令和2	年	9	月から	終了	令和5	年	3	月まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
企業等の地方への拠点分散を促進するとともに、町内での就業支援や域外からの人材確保、町内における人的交流を推進する。また、地域活動の拠点として有効活用していただくことで、関係人口の増加やにぎわいの創出を図る。	歴史的建造物である「石蔵」の魅力を最大限活用し、サテライトオフィスやコワーキングスペース等を整備する。また、入居企業等の社員を中心とした、小川町地域関わり隊として、町の関係人口の創出・拡大に資する取組を地域住民とともに積極的に行う。		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
サテライトオフィス・コワーキングスペース等をはじめとしたテレワーク環境の整備や多様な働き方を求める企業及び個人	サテライトオフィスやコワーキングスペースとしての機能のほか、カフェやイベントスペースとして活用することにより、利用者同士や地域住民の交流の場、地域資源を活かした企業研修、町の魅力をPRするイベントの開催等、地域活動の幅を広げるとともに、関係人口の増加やにぎわいの創出を図る。		
対象数	-	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

新型コロナウイルス感染症の影響が拡大したことにより、働き方やライフスタイルの変化は加速度を増し、都内から地方への移住を希望する方が増加すると共に、サテライトオフィス・コワーキングスペース等をはじめとしたテレワーク環境の整備や多様な働き方へのニーズが急激に高まった。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称	新しい働き方×地域の担い手×関係人口創出事業費					
		決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	補助金			61,201	16,789	0	0
	委託料			0	495	0	0
	負担金補助及び交付			0	2,054	1,389	0
	役務費			0	11	11	0
	その他			0	0	0	0
	直接事業費合計	0	61,201	19,349	1,400	0	
(3)財源内訳	国庫支出金			11,208	16,789	0	0
	県支出金			33,000	869	900	0
	地方債			0	0	0	0
	その他特定財源			0	0	0	0
	一般財源			16,993	1,691	500	0
	合計	0	61,201	19,349	1,400	0	
(4)補助金名			地方創生臨時交付金及び埼玉県ふるさと創造資金		ふるさと創造資金		
(5)人件費							
	投入職員数		0.3	0.3	0.3	0	
	年間人件費	0	2,292	2,288	2,263	0	
(6)総事業費		0	63,493	21,637	3,663	0	
	サービス量(施設数)		1	1	1	0	
	サービス単価	-	63,493	21,637	3662.6	-	
	(単位)		千円/1施設あたり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		新しい働き方×地域の担い手×関係人口創出事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	整備工事の進捗	目標値	%	100	-	-
		実績値	%	100	-	
		達成率	%	100.0	-	
	地域関わり隊事業実施回数	目標値	回	3	3	-
		実績値	回	6	4	
		達成率	%	200.0	133.3	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	施設利用会員登録者数	目標値	件	200	200	-
		実績値	件	444	300	
		達成率	%	222.0	150.0	
	地域関わり隊事業参加者数	目標値	人	40	40	-
		実績値	人	126	113	
		達成率	%	315.0	282.5	
(3)その他指標に現れない成果						
カフェを併設し、憩いの場として広く一般に開放することにより、コワーキング利用者だけの利用に留まらず、地域住民や町外からの来訪者が気軽に集い、交流することができる。						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他(町を含む4者で協議会を設立。)	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
<p>コロナ渦において、サテライトオフィス・コワーキングスペース等をはじめとしたテレワーク環境の整備を求める声にいち早く対応できた。地域資源である築約100年の大谷石蔵を活用した事業であるため、域外への発信力も高いと言える。また、多数の施設会員登録が行われたとともに、当該施設を活用した各種イベント等を開催し、町の魅力を発信することができた。今後は、各種イベント等を通し、利用者同士の交流を生み、継続して施設を利用してもらうことに加え、新規利用者の増加を目指す取組みを実施していく必要がある。</p> <p>※県補助金の終了に伴い、本事業は令和5年度から総合戦略推進事業費に移管する。</p>						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)		(3)最終評価 (町長)		
評価	3					
説明	施設の整備や地域関わり隊事業等により利用者は伸びている。今後は総合戦略推進事業として、関係人口創出を図るよう継続して取り組んでいく。					